
多面的機能支払 メールマガジン
「農村ふるさと保全通信」 第 123 号(2023. 3.31)

農林水産省農村振興局 多面的機能支払推進室



高めよう 地域協働の力!

多面的機能支払のメールマガジン「農村ふるさと保全通信」の第123号をお届けします。
今回の活動組織紹介では、①子供会と連携した農業体験による幅広い年代との交流により地域の活性化を図るとともに、非農業者に農村文化等への興味を持ってもらい、草刈り等へも参加してもらおうとする組織、②広域化による集落間連携により、老朽化により緊急に対策が必要な農業用水路工事など優先順位をつけて行えるようになった組織について紹介します。女性役員へのインタビューでは、組織が地域のために活動している様子を見て喜んで組織役員を引き受け、活動が活発になるよう非農業者を含む地域の団体と連携している事例について紹介します。

第 123 号の目次

1. 活動組織の紹介

やまだて
☆山館地域資源保全隊 (秋田県おおだてし大館市) ☆

いねちよう
☆伊根町農村広域協定 (京都府よさぐんいねちよう与謝郡伊根町) ☆

2. 女性役員へのインタビュー

まさかね
☆正金組織 (岡山県きびちゅうおうちよう吉備中央町) ☆

(編集後記)

■ 1. 活動組織の活動紹介(1) ～ ^{やまだて}山館地域資源保全隊 (秋田県^{あきたてし}大館市) ～

～ 地区概要 ～

本活動組織は、大館市の南部に位置する田畑の風景が美しい山館地区で活動している。平成 27 年度から山館地区を含む上川沿地区^{かみかわぞい}ではほ場整備事業がスタートし、新たに区画整理された農地や水路などの施設を対象に活動している。活動範囲は田 55.7ha、畑 2.8ha、農道 10.0km、水路 21.0km となっている。

～ 主な取組 ～

- ◎ 本活動組織は、地元の農事組合法人と協力し、草刈り等の保全管理活動を行っています。そのため、活動の時短や効率化が図られ、近年の温暖化による猛暑日でも安全に作業ができるようになりました。
- ◎ また、景観形成活動に力を入れています。毎年、地域の子供会、婦人会、老人会等と協力し、1,000 本以上の花の植栽を行っています。
- ◎ さらに、遊休農地を活用し、子供会と連携したじゃがいもやさつまいもの苗植えや収穫体験を行っています。こうした活動を通して幅広い年代の方々と関わることで、地域の活性化につながっていると考えています。
- ◎ 今後は、地域の非農業者の方々に、本交付金の活動を通して農業や農村文化にもっと興味を持ってもらい、草刈りなどの実践活動にも積極的に参加してほしいと考えています。今後もこの活動を継続していきたいです。



用水路や畦畔の草刈り作業



水路の泥上げ作業



植栽活動



さつまいも収穫体験

^{やまだて}【山館地域資源保全隊】

編集担当 SDGs コメント

地域の非農業者と連携した苗植え・収穫体験等の交流活動や、地域の団体と協力した景観形成活動などにおいて、多様な主体の活躍の場を創出しており、目標3(やすらぎや福祉の機会を提供する。)に貢献しています。

次世代を担う子供達が農村文化に興味をもち、伝承していくことを期待しています！



etc.

■ 1. 活動組織の活動紹介(2) ～伊根町農村広域協定(京都府与謝郡伊根町)～

～ 地区概要 ～

本活動組織は、京都府北部に位置しており、海と山に囲まれた自然豊かな町である。

活動範囲は、農地 132ha、農道 42 km、水路 190 kmとなっている。

～ 主な取組 ～

- ◎ 本活動組織は、令和元年度に 6 組織が広域協定を結んだことで町の組織の一本化に成功しました。令和 4 年度現在、9 組織と 1 集落が広域協定に参加しています。共同作業では主にほ場へ続く水路管理清掃、鳥獣害対策などを行い、長寿命化においては老朽化した水路改修工事など、農業者や地域住民が安心して作業できる環境づくりを行っています。
- ◎ 農業者の高齢化、活動へ参加する担い手不足、農業用水路の老朽化等の課題、鳥獣害防止のため農業者の負担も大きくなっています。本活動により、鳥獣害で荒らされた法面に重機を使用して整地、溝上げ等を実施しています。
- ◎ 伊根町内の組織は小規模な組織が多かったため、本交付金では補うことのできない工事が多くありました。しかし、広域化をすることにより、集落間連携により緊急性のある組織には優先的に交付金を配分できるようになりました。
- ◎ 高齢化や人口減少により農業用水路や農道などの地域資源の維持管理が困難になっています。本交付金を活かし地域資源の保全に取り組んでいきたいです。また、本交付金に取り組んでない集落へ働きかけ、将来的には伊根町全体で地域資源を守っていきけるようにしていきたいです。

【伊根町農村広域事務局 松山義宗】

編集担当 SDGs コメント

老朽化した水路改修を長寿命化で取り組んでおり、地域において、安心して作業できる環境づくりのほか、災害につよいインフラづくりへとつながるため、目標9(災害に強いインフラづくりとそのための技術の開発に貢献する。)に貢献しています。

町全体に本交付金の取組が拡大することを期待しています！



etc.



水路清掃活動の様子



法面補修(獣被害)活動の様子



草刈り活動の様子

■2. 活動組織の女性役員インタビュー ～^{まさかね}正金組織（岡山県^{きびちゅうおうちょう}吉備中央町）～■

組織の概要

本活動組織は、岡山県吉備中央町の西部に位置する美しい棚田風景に囲まれた地区で活動している。農業用水は、貯水池を水源にして地区内のため池に圧送した後、農地に配水されている。地域農業の要となるため池や農業用水施設を継続的に管理していく必要があったことから組織を設立し、平成 19 年度の農地・水・環境保全向上対策から活動に取り組んでいる。堰、ゲート、用水ポンプの操作や維持管理を行う「猿目^{さるめ}用水組合」の一部のメンバーと地域の若手が集まった「若者の会」を中心に活動を実施している。活動範囲は、田 24. 2ha、畑 7.6ha、水路 3.1km、農道 7.3km、ため池 5 箇所となっている。

～インタビュー～

Q：組織の役員を引き受けたきっかけを教えてください。

A：（監査）以前から組織の方が地域のために一生懸命活動されている姿を見ていて、それに対して感謝の気持ちが強かったです。自分も地域の役に立ちたいと思っており、役員の方から声をかけられた時、喜んで引き受けることにしました。

（副代表）役員の方も気軽に声をかけてくれるので、気負いすることなく役員活動を始めることができました。



副代表 ^{すがの}菅野 ^{ちえ}千絵 氏（左）

監査 ^{つちいわ}土岩 ^{せいこ}晴子 氏（右）

Q：「若者の会」について教えてください。

A：（若者の会代表）「正金組織」（以下「本組織」という。）

の最大の特徴は、構成員の農業者（個人 26 名）を上回る非農業者（27 名）が参加する「若者の会」が活動に加わったことです。この会は、地域で急速に進む高齢化や、本組織の構成員が多く関わっている「猿目用水組合」の水番、本組織の活動や事務を担う人材の確保、そして地域の交流減少などの課題を解決するため、平成 29 年度に構成員の 60 歳以下の御子息や I ターン者等を集めて設立しています。私も若者に声かけし、農業の話だけをしても人は集まらなないと考え、まずは交流を図ることを目的に、地域の祭りの催し物を企画したり、食事会を開いたりしました。

（副代表）本組織の方から活動について話を聞くうちに、この土地に住んでいくには活動を行うことは大切だと思ふようになりました。そして活動に興味を持ち、積極的に草刈りや泥上げなどを行うようになりました。「若者の会」のメンバーは職種が異なる方も多く、若者の会設立以前は同じ地域に住んでいてもお互いに交流がなかったのですが、

本交付金の活動がきっかけとなってコミュニケーションが進み、今では、本組織役員からの指示がなくても、自分達で作業箇所を話し合い、活動するまでになりました。



花壇への植栽後の様子

(監査) 年一回実施しているクリーン作戦には小さい子から中高生までの子供達も参加してくれ、地域が一体となって活動に取り組んでいます。

Q：役員としての役割等を教えてください。

A：(副代表) 役員体制は代表1名、副代表2名、役員4名、会計1名、監査2名で実施しています。当初は男性役員が運営を担っていましたが、男女関係なく、皆で活動する体制が作られており、令和2年度より副代表と監査に私達が選ばれました。副代表の作業内容は、活動の事前連絡を含む準備や、当日の進行、代表のお手伝いをするだけでなく、各活動に率先して参加しています。特に植栽活動を頑張っていて3カ所の花壇に1,200本のポチュラカやパンジー・ビオラを植栽し、農作業をする女性が描かれた看板を信号横の道路沿いなど目立つところに設置し、組織の活動をPRしています。(監査) 監査の作業内容は、領収書や総会前の事業報告書の確認等です。



地域ぐるみで植栽活動

Q：男性と女性の役割の違いはありますか。

A：(副代表) 役員の仕事も活動自体も全く違いはありません。性別問わず、女性も草刈りや力仕事も頑張っています。

Q：活動を行う中で心がけていることをお聞かせください。

A：(副代表) 年3回以上行っている草刈りなどは休日にすることが多いのですが、「若者の会」では、仕事の関係で休みが同じではない人もいますので、できるだけ参加してもらえようというグループチャットを使って事前に連絡し、参加を促すよう声を掛け合っています。皆仲良く活動しています。



花壇に設置された看板

(監査) 草刈りも皆が交流できるイベントのような感覚で参加していて、農家の方に農作業を教えてほしいとお願いする人も出てくるようになりました。若者の会でチラシや横断幕を作り、結束を強めています。

Q：活動を行ってよかったことをお聞かせください。

A：(副代表) 活動を通じて知り合いが増え、近所の方に子供の事を知ってもらえることで、安心して学校に送り出せるようになりました。また地域の課題やこれまで知らなかった事を知ることで、さらに地域への愛着がわきました。

(監査) 地域の方と共通の話題が増えたこともよかったと思います。



女性も活躍(泥上げ作業)

Q:今後の展望や目標をお聞かせください。

A:(若者の会代表) 今後は、「若者の会」が中心となって、活動を引き継いでいけたらよい

と思います。昨年、本組織に加入した地域の若い人にも声をかけて、これからも「若者の会」を拡大し、本組織を盛り上げていきたいと思っています。
(会計)事務支援ソフトを導入したので、事務の簡素化を図っていきたいです。

【中国四国農政局 多面的機能支払推進室】

編集担当 SDGs コメント 

活動組織の運営等に性別問わず参画していることは目標 16(多様な主体の参画による地域づくりを促進する。)に貢献しています。また、活動組織とともに地域の団体と連携した活動では、花壇への植栽で景観形成に取り組んでいることから、目標 11(住み続けられる地域をつくる。)、目標 17(地域協働の力により目標を達成する。)に貢献しています。

地域資源の保全に地域一体で取り組む活動を応援します！



etc.

■ 編集後記 ■

私が着任してあっという間に1年が経ちました。1年間この業務に携わるなかで、多面的機能支払交付金を活用した活動内容に触れることができ、農村においてどのように役立っているのか学ぶことができました。次の担当者にバトンタッチし、人事異動により4月から霞が関を離れることになるのですが、新天地でも楽しみながら仕事をしてまいりたいと思います。

だんだんと暖かくなり、全国各地で桜が咲いており、すっかり春の陽気です。これから農作業が本格的に始まる方が多いと思いますが、怪我や事故等にはくれぐれもお気を付けて皆様どうぞご自愛ください。今後とも「農村ふるさと保全通信」をよろしくお願いいたします。

それでは次号もお楽しみに！



ライトアップされた夜桜

◇多面的機能支払メールマガジン「農村ふるさと保全通信」バックナンバー◇

https://www.maff.go.jp/j/nousin/kanri/tamen_siharai/nouson_furusato_hozen/index.html

バックナンバーはこちらの二次元バーコードからもご覧いただけます！→



◇「多面的機能支払交付金のロゴマーク」◇

ロゴマークは以下のサイトからご利用になれます。

活動内容の紹介や広報の発信などに、どんどんご活用ください！！

https://www.maff.go.jp/j/nousin/kanri/attach/pdf/tamen_siharai-31.pdf



◇配信先メールアドレスの変更・配信解除等◇

メールアドレス等の変更やメールマガジンの配信解除等は以下のサイトから。

<https://www.maff.go.jp/j/pr/e-mag/>

手続きにはパスワードが必要です。

お忘れの場合は、以下のサイトでパスワードを再発行して下さい。

<https://www.maff.go.jp/j/pr/e-mag/re.html>

◇多面版 SDGs アイディアシート（案）◇

SDGs アイディアシートのダウンロードは以下のサイトから。

https://www.maff.go.jp/j/nousin/kanri/jirei_SDGs.html

◇ご意見・ご感想等◇

メールマガジンに関するご意見・ご感想や取り上げて欲しいテーマ、ご自身の所属する活動組織の紹介文（300字程度）等に関するメールをお待ちしております！！

tamen_ml@maff.go.jp

【発行】

〒100-8950 東京都千代田区霞が関1-2-1
農林水産省農村振興局整備部農地資源課
多面的機能支払推進室（担当：近藤、藤原）
TEL：03-3502-8111（内線 5493）